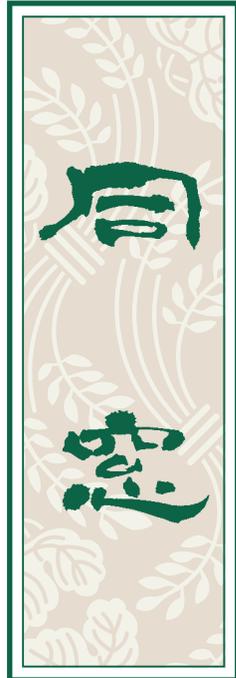


青春 駆けぬける



2020年(令和2年)4月撮影

母校シリーズ(26) 「走れ! 夢に向かって」

発行
福島県立
橘高等学校同窓会
(福島女子高等学校同窓会)

発行人
坪井有子

発行所
福島市宮下町7-41
電話(024)535-3395
FAX(024)535-3397

会員数
38,546名
(2020.3 現在)

母校創立123年



コロナ禍の中で

同窓会会長 坪井有子
(昭和41年卒)

「3密」「ソーシャルディスタンス」「新しい生活様式」この一年の間にこのような言葉が私たちの日常で聞かれるようになりました。新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックはそれまでの生活を一変させてしまいました。同窓会にもその影響は及びました。昨年二月末の同窓会入会式は中止となり新会員には書面での入会案内となりました。そして何と言っても昨年六月の令和二年度同窓会総会を予定通り実施できなかったことでした。総会に向けて当番学年である卒年に0が付く学年幹事の皆様は前年の十一月から活動を開始して、懇親会の内容の検討や、同級生への連絡等進めておられました。しかし三月に全国的に休校になった頃から新型コロナウイルス感染症に対する危機感が強まり、同窓会でも、開催について不安視する意見が多くなりました。総会には大勢の同窓生が各地から集まることや、大先輩の同窓生もおられること等を考え例年通りの開催は見送ることとしました。とても残念なことで、特に当番学年幹事の方々には申し訳なく思っております。何より感染拡大防止の観点からの決定でした。どうぞご理解賜ります様お願いいたします。

令和二年九月二日に橘高校同窓会総会を開催いたしました。母校の校長先生にご挨拶を頂き、評議員・学年幹事代表者の限られた出席者で議事の審議をいたしました。提案された議案は全員一致で承認頂きました。また役員改選で私が会長に再任されました。二年間の役員改選では、次の時代に繋げていくことを考えました。皆様のご協力をお願いします。

終わりに、新型コロナウイルス感染症の終息は不透明なことから今年の同窓会総会も昨年と同じく総会のみ開催とすることを決定いたしました。残念です。また例年通り、総会・懇親会が開かれることを願っております。

コロナ禍にあっても

校長 加藤 知道



同窓会の皆様には、日頃より多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今年度新たに校長に就任した加藤知

道と申します。生徒たちが伸び伸びと勉学に励み、素晴らしい橋高校を創造していくことができるよう、教育環境の充実に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一年といっても過言ではありませんでした。昨年三月から全国一斉休業となり、新年度の始業式・入学式から再開となりましたが、入学式の恒例である管弦楽部の演奏や合唱部の校歌披露などは実施できませんでした。当時は、現在とはコロナウイルスに対する個人・社会の考えも大きく異なり、測ることのできない怖れの中で、手探りの年度始めでした。

四月下旬から再び一ヶ月ほど学校は臨時休業となり、新入生歓迎会を始めとした学校行事は軒並み中止・延期を余儀なくされました。昇降口での手指消毒やマスクの着用、こまめな教室の換気などが新たな学校の日常となりました。そのような中、新入生への部活動紹介では生徒会が中心となつて撮影した動画を披露し、歓迎の気持ちを込めて校舎の吹き抜けを満開の桜の飾りで彩るなどを凝らしてきました。

その後、夏休みの短縮や行事日程を調整しながら授業の遅れを回復し、スポーツ大会などの生徒会行事も開催できるようになりました。徐々に日常の学校生活を取り戻してきました。コロナ禍での大学入試という新たな不安もありましたが、学校全体で三年生を応援し、本日卒業の日を迎えました。新たな同窓生を、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

令和2年度 福島県立橋高等学校同窓会 一般会計予算書

収入金額 2,252,255円 自 令和2年4月1日
支出金額 2,252,255円 至 令和3年3月31日

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 助成費, 慶弔費, 通信費, 旅費, 事務費, 維持費, 積立金, 予備費, 合計.

(執行にあたっては項目間の流用を認めるものとする)

令和元年度 福島県立橋高等学校同窓会 一般会計決算書

収入金額 2,452,801円 自 平成31年4月1日
支出金額 2,030,546円 至 令和2年3月31日
次期繰越金 422,255円

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 助成費, 慶弔費, 通信費, 旅費, 事務費, 維持費, 積立金, 予備費, 合計.

同窓会館たちばなセミナーハウス維持管理費報告

収入金額 8,723,303円
支出金額 641,590円
次期繰越金 8,081,713円

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 摘要. Rows include 維持経費, 施設維持管理費, 合計.

令和元年度同窓会協力金

収入金額 6,832,164円 自 平成31年4月1日
支出金額 3,272,469円 至 令和2年3月31日
次期繰越額 3,559,695円

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 協力金, 預金利息, 前年度繰越金, 合計.

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 会報発行費印刷代等, 送料, 需用費, 合計.

令和元年度同窓会積立金

Table with 2 columns: 積立金, 2,292,911円

令和元年度同窓会基金

Table with 2 columns: 積立基金, 15,012,853円

監査いたしました結果、会計は適正に執行され、上記のとおり相違ないことを認めます。

令和2年4月7日 監査 橘 洋子 誉田 文子

在校生の活躍



高校生ジャンボパフェ
コンテンツで優勝
「りんごのきもち」

ハンドメイド部



合唱部・管弦楽部合同定期演奏会

◆ 全国大会出場 ◆

写真部

▽第44回全国高等学校総合文化祭
写真部門 大和田 樹



写真部

放送部

▽第44回全国高等学校総合文化祭
アナウンス部門 南 春菜



放送部

囲碁部

▽第44回全国高等学校総合文化祭
囲碁部門(開催中止)
男子個人戦 半田 紘太郎
団体戦 佐藤 実穂



囲碁部

▽第15回全国高等学校囲碁選抜大会
男子団体戦

三浦 大輔 遠藤 充
高木 智啓 富田 雄平

卓球部

▽第48回全国高等学校選抜卓球大会
男子シングルス 阿部 将和



卓球部

スキー

▽令和2年度全国高等学校総合体育大会
第70回全国高等学校スキー大会
アルペン・回転競技 大橋 陸

母校あの頃

多行松今昔



昭和30年頃



昭和42年頃



現在

令和元年度 入試合格状況

(4月1日現在)

Table with columns for National University, Private University, and University School, listing names, current status, and graduation rates.

※表中の数字は、「合格者数」である。
※表中の「過年度卒」欄の合格者数については、報告のあった人数を示している。

令和二年三月卒業生の
大学合格状況と今春の卒業生

最後となったセンター試験では、全国平均点が前年
度よりも低下した中で、本校は、その平均点を文系
理系ともにさらに下回り、二次試験の厳しさが予想
されました。しかし、最終的な国立大の合格者数は
一四五名となり、ここ数年の中でも大健闘でした。
この粘りはどこからきたのか？進路指導室には、過
去六年分の赤本が保管されています。「寄贈」のラベ

ル本の中でも本人の手書きで「合格者より」と書かれ
ているものがあり、縁起の良い本として借りていきま
す。「私も先輩のように絶対合格するんだ」と心に決
め、厳しい受験勉強を乗り切った後、自分が使い込ん
だ赤本に、にこにこ顔で「合格者より」と書いて寄贈
してくれまます。新たな伝統となりつつあります。
令和三年度入学試験は、新入試システムが二転三転
し、新型コロナウイルス感染症という見えない敵にお
びえながらも乗り越えなくてはなりません。本校生は
それをものともせず力を発揮してくれるものと信じて
いますので、今後とも温かく見守っていただければと
思います。
(進路指導主事 渡邊 彰)

2度目の火災

福島女子高校新聞

第76号

火災に見舞われて.....

昭和35年1月15日



焼け落ちた校舎



翌日 焼跡にたたずむ校長先生



延焼中の体育館 必死の消火作業

なつかしき恩師

つい先日のこと、隣のスーパーの入口で立ち止まっている主婦らしき人に会釈をされたよ
うな気がしたので、私も軽く頭を下げると……
「間違っていたらご免なさい……網代先生で
すよね」と。

この頃は卒業生と会っても思い出せないこと
が多い。多少焦りも感じたが、歳を取ったのだ
から仕方がないと咄嗟に諦め「名前が思い出せ



卒業生と思い出

網代春朋

昭和40年4月〜昭和56年3月
(桑折町在住)

小春日の中、晴々した気分となり、思いは
四十年前に逆戻り。運動会での先生方の仮装
(変装?) 競技で私の「藤娘」や渋谷先生の「桃
太郎」など、頭の片隅にある痕跡程度のものが
増幅され、話が止まらなくなる。

修学旅行では奈良・京都を回ったあと、四国
に向ったことが忘れられないようだ。関西汽船
の大型客船で大阪を夕方出帆し、月の美しい瀬
戸内海の夜を今でも鮮明に覚えて
いるとのこと。

高松の栗林公園・金刀比羅宮・
屋島や夕日に輝く塩田・鳴門の渦
潮など、旦那にもよく自慢してや
れるし、孫たちの修学旅行にもよ
いコースである旨の話をしてくれ
た。

そのうち同級生何人かで会いに
来てくれる約束をしてその場を離れた。卒業生
にとつて修学旅行は忘れられない人生の一ペー
ジのようだ。

近年になって広島や長崎などの戦争体験型
や、飛行機を使つての海外の語学研修型など年々
豪華になってきたがコロナ禍ですべてが困難に
なつてしまった。早く禍を終息させ思い出にな
る修学旅行のできる日を望まずにはいられない。

なくて」と謝ろうとした。とその時、生徒時代
の面影がちらつと見え、自分のクラスの生徒で
あったことが判り、彼女も覚えられていたこと
の喜びを隠し切れず小躍りしていた。嬉しい瞬間
だった。

話によると古稀を過ぎ、この四月に両親の面
倒を見るために実家の近くに戻つてきていると
のこと。

卒業生の活躍

二階堂先生との出会い

西村(阿部)照子(昭和27年卒)



福女の会員名簿にその年数が記されないほど、二階堂(永

沢)務先生の在職期間は短かった。
私は昭和二十七年に福女を卒業し
たのだが、記憶も覚束ない七十年
も昔の話である。

ある日突然教室に現れた先生
は、教卓に腰をかけた足を組んだ。
広い額に強い目力のイケメン、

ある日突然教室に現れた先生
は、教卓に腰をかけた足を組んだ。
広い額に強い目力のイケメン、

ベージュのジャンパー姿は映画で
見る外国人そっくりだった。

当時の英語教育は、「読む」「書
く」が主体でつまらなかつたが、
ハワイ生まれという先生は、ネイ
ティブの発音、言葉のリズムを大
切にされ、「聞く」「話す」など歌
う動作のなかで教えてくださつ
た。授業は盛り上がり、多くの務

切にされ、「聞く」「話す」など歌
う動作のなかで教えてくださつ
た。授業は盛り上がり、多くの務



全東北高校英語弁論大会 優勝記念
西村照子さん(前列右)

オークランドの空の下

加藤八重子(平成7年卒)



私が初めて、
ここニュージ
ーランド、オー
ークランドの地を踏

ファンが生まれた。先生が顧問を
されていた英語クラブには、生き
た英語を求める多くの生徒たちが
集まった。先生のご指導により、
第一回全東北新制高校英語雄弁大
会で優勝。その後、県英語弁論大
会でも次々と優勝した。また、昭
和二十五年には英語劇を上演し
た。

先生が福女を去られたのもまた
突然であった。私たちファンで
あった生徒たちにとつてはつらい
別れだったが、先生によつて培わ
れた英語愛は心の底に深く残った。

五十四歳で退職した私は、ハワ
イ生まれのマリアン森口先生の教
室に通い始めた。以来三十年余、
八十六歳になる現在まで、曲折を
経ながらも最古参の生徒として、
週一回のレッスンを続けている。

昭和三十年頃、私の夫西村榮悟
の絵を買ってくださったアメリカ
人のバゼル夫妻と懇意になり、家
族同様の交流は今も続いている。
また、夫のスケッチ旅行でヨー
ロッパを訪ねた際は、サポート役
を務めることができた。

最初の半年はホームステイ。生
きていくためには何としても英語
を使わなければならない生活で、
話す方はかなりのスピードで上達
しました。そして気がつけば、あ
れから二十年ほどたち、ニュー
ージーランドでの生活の方が日本
の生活より長くなるのもあと数年
後となつてしまいました。

現在は永住権を取得し、オー
ークランドの西地域に在住。ニュ
ージーランドは、仕事とプライベート
トをはっきりと分けるスタイル、

現在は永住権を取得し、オー
ークランドの西地域に在住。ニュ
ージーランドは、仕事とプライベート
トをはっきりと分けるスタイル、

学年だより

福女二十年会

吉野(針金)愛子(昭和20年卒)

昭和十六年四月入学。十二月八日太平洋戦争勃発。二年生の頃から勤労奉仕、本法寺様のお掃除。麦刈り稲刈りの手伝い、競馬場を開墾し蕎麦をまき、校庭の周りテニスコートも耕し、甘藷を植えた。十九年七月学徒動員、品川計器、日東紡、福島駅に向。二十年三月学校に集まり、卒業式。B5の半分の卒業証書をいただき動員先に戻った。卒業三十年、昭和五十年に初めて同期会を開き「福女二十年会」発足。修学旅行を京都、奈良から始め、九州から北海道まで三十五回続けた。平成二十九年ホテル大島で最後とした。

福女創立百周年同窓会館を建立した時の山本和子さんが寄贈した藍染の大きな絵と、橘高校創立百二十周年記念式典での小島美子さんの記念講演は同級生の誇りです。

友だち

瓶子(瓶子)和子(昭和30年卒)

コスモスや語り合うよな風の中
七月七日は年に一度、彦星さまと織姫さまが再会するロマンチックな日ですが、私達の学年でも七夕会を開催しております。十年前の総会からクラスの幹事さんの希望で始まり、回を重ねるたびに友だちの輪が広がり、現在では二十名前後が集い、この日はかりは昔の福女時代の乙女となり楽しく語り合っています。その姿は、コス

モスが風にふかれてゆれて会話し
ているようです。コスモスの花言葉は、「乙女の真心」。私達もいつまでも清らかな心を持ち続け、少しでも人の役に立つことを心がけて素敵に年を重ねていきたいと思っています。
最後に同期の皆様方には健康に留意して、ますますご活躍され、楽しい人生でありますようお願いいたします。

会える日を楽しみに!

小野(尾)美弥子(昭和40年卒)

三年前、七十一歳の時に気力・体力のある今「ランチ同級会」をしたと、二ヶ月に一度を目標に始めました。市内在住の同級生七名を中心に連絡をとり合いランチを共にし、古き良き昭和の絆をつないでまいりました。県外からの参加者もあり話題は趣味、介護、体調等の近況報告など...
これから十年後の同窓会までにランチ同級会を再スタートして行きたいと考えております。

女子高ならではの

楽しい日々

斎藤(尾形)良子(昭和50年卒)

福女に通い始めた当初は、男女共学への憧れがありました。徐々にな女子だけの気楽な生活が心地よくなってきました。
例えば、男性と言えれば先生方しかいなかったの、先生方の話題

で盛り上がったたり、暑い日の授業中にはスカートと裾であおいだり、堂々と早弁をしたたり、昼になると全校生相手にお気に入りパンの争奪戦に必死だったり...
二年生の時には、担任の先生との息もぴたり合、クラスの結束力が高まり、優勝した仮装行列のテーマは海賊でした。さらに、友人と「清少納言を敬う会」を作り、友人の誕生日会や合宿のまね事をしたのが一番の思い出です。

笑顔での再会へ

中木(橋)泉(昭和60年卒)

今回の同窓会総会は、0のつく学年が当番となり、私達昭和六十年卒の学年も三十五年ぶりに再会できることを楽しみにしております。

卒業時の学年幹事と、今回新しく引き受けてくださった幹事の方々の新メンバーで、総会参加へ向けて始動したところでした。卒業アルバムを横に、電話の向こうの声は、いつの間にか高校時代の「〇ちゃん」と戻っていました。同じクラスや部活の仲間、今の仕事などで繋がっている方へと連絡を広げていきました。

今回の総会は、残念ながら学年幹事二名での参加となりましたが、先輩方の築いてきた同窓会の縦の繋がりと強い絆を感じることでできました。

昭和六十年卒の皆様、次回総会で元気に笑顔でお会いしましょう!

再会を楽しみに

石川 優里(平成10年卒)

自分自身は変わらないつもりでも、やはり月日は流れているのだ

と感じさせるものが、新校舎にあります。通路両脇にずらりと植えるのは確か松の木です。自分が高校生だと記憶していますが、今は遙か頭上から私達を悠々と見守っているかのようです。冬には職人さんの手によって見事な雪つりの姿となります。まだご覧にならない方は是非いらしてみたいかがでしょうか。
ずっと私たちの学び舎にいてくれた松の木を見上げながら、皆様との再会を心より願うばかりです。

次の機会を楽しみに

菅野翔太郎(平成20年卒)

私たちが橘高校を共学化三期生として卒業して十二年が経ちました。その間、青春時代を過ごした平成から令和へと年号が変わり、私たちが新時代を担う社会人としてそれぞれ活躍しているところです。今回、同窓会総会の担当学年ということで久々に同級生や恩師の先生方と楽しい再会の機会になればと思います。例年通りの総会・懇親会が開催されず大変残念です。しかし、準備の段階では各クラスの幹事と連絡を取り合い、一月には同級生が営む店で顔合わせを兼ねた幹事会を開くことができました。学生時代の話で盛り上がったことはもちろん、今後に向けてSNSを活用した連絡方法について意見を交わしました。新型コロナウイルスが終息した際は改めてみんなで集まろう!

福島女子高等学校歌

作詞 菅野心平
作曲 清水脩

信夫山 松と楓の
阿武隈は 銀のそと波
雪が倉に 古き歴史と
新しき夢に 福島 福島
吾輩が母校 福島女子高校
玻璃窓に 映る吾輩の
その白き 雪のほたてよ
美を求め 眞を求めよ
胸はちほ あつく 福島 福島
あつく 福島 福島
吾輩が母校 福島女子高校
紫の春の かげろ
赤と黄の 林のもみぢ葉
休みなく 集いて吾輩
花ある道々 福島 福島
道をつくらん 福島 福島
吾輩が母校 福島女子高校



(元母校美術教諭) 神野忠和先生作

あとがき

◎会報7号が完成しました。コロナ禍のため紙面作りや編集作業に影響を受けながらも、無事皆様にお届けできました。ことに、編集委員一同ほっといたしております。「ニュースメモ」「支部だより」集合写真など、今回載せられなかったものもありますが、この会報が少しでも皆様の元気の糧になりましたら嬉しく思います。最後に、関わられた皆様へのご協力に心から感謝申し上げます。

